

ドイツ ロマン派室内楽の夕べ

ドレスデン・フィルハーモニー 弦楽三重奏団

*Dresden
Philharmonic
String Trio*

内藤江美

Emi Naitoh



ヴァイオリン: ハイケ・ヤニック

ヴィオラ: アンドレアス・クールマン

チェロ: ウルフ・プレーレ

©Marken fotografie

ピアノ: 内藤江美

PROGRAM

シューベルト: 弦楽三重奏曲 第1番 B dur D471 Allegro
F. Schubert: Streichtrio Nr.1 B dur D471 Allegro

シューマン: ピアノ四重奏曲 Es dur Op.47
R. Schumann: Klavierquartett Es dur Op.47

ブラームス: ピアノ四重奏曲 第3番 c moll Op.60
J. Brahms: Klavierquartett Nr.3 c moll Op.60

2026

7.1

水

19:00開演
[18:30開場]

ザコンサートホール
名古屋・伏見・電気文化会館

4,000円【全自由席・税込】

※未就学児の入場はご遠慮ください。



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

【劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業】
○小学1年生～18歳以下の方をご招待します。
申込方法等詳細はクラシック名古屋ホームページにてご確認ください。



ホームページQR

主催 / クラシック名古屋 052-678-5310

後援 / 名古屋市立菊里高等学校音楽科同窓会、名古屋市、名古屋市教育委員会

【プレイガイド】アイ・チケット 0570-00-5310 <https://clanago.com/i-ticket>

芸文プレイガイド 052-972-0430



ドレスデン・フィルハーモニー弦楽三重奏団

かつて、ブラームス、ドヴォルジャークなどが自ら指揮したドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団は、古都ドレスデンの名門オーケストラである。ドレスデン・フィルハーモニー弦楽三重奏団は、このドレスデン・フィルのトップメンバーによって1996年に結成され、ザクセン派の弦楽の伝統と新しい時代が要求する多様な要素を融合し、その個性のある演奏が世界的に高く評価されている。



ハイケ・ヤニック (ヴァイオリン)
Heike Janicke

ハインツ・ルドルフ教授、グスタフ・シューマル教授に指導を受け、ヨセフ・スーク、マックス・ロスタール、ユーディ・メニューインのマスタークラスを受講した。ウォルフガング・マルシュナーのもとでソリスト試験を終了してからは、1985年のジュネーブ音楽コンクール、1987年グラーツのフリッツ・クライスラー・コンクールなど、数々の国際コンクールで賞を受賞した。ソリスト、また室内楽奏者としてヨーロッパ各国だけでなくアメリカ、日本などにも招かれている。1991年から1993年まではベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に所属し、1993年にはロンドン交響楽団(アシスタントリーダー)に入団。1995年からはドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団の首席コンサートマスターを務めている。



アンドレアス・クールマン (ヴァイオラ)
Andreas Kuhlmann

エッセンのfolkヴァング音楽アカデミーでコンラート・グラエ教授のもとでヴァイオラを始める。その後トロッツンゲンでエミール・カントール教授に、更にパリでセルジュ・コロエ教授に師事。その後、アマデウス四重奏団のメンバー、イフラ・ネイマン、ドミトリー・シトコヴェツキー、ジェルジ・クルターグ、シャンドル・デーヴィチに師事し、ヨーロッパ各地でコンサートツアーやラジオ録音を行った。(BBC、WDR、ハンガリー放送など)1989年にfolkヴァング賞を受賞し、1991年には第1回ロンドン国際弦楽四重奏コンクールでユーディ・メニューイン賞を受賞した。長年にわたりユンゲ・ドイチェ・フィルハーモニーに所属し、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団を含む多くのオーケストラで代役を務め、室内楽やソロ活動も幅広く手掛けた後、1994年にドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団に入団した。2007年から2013年まではパイロト祝祭管弦楽団にも所属していた。また、カール・マリア・フォン・ウェーバー音楽大学の講師も勤めている。



ウルフ・プレーレ (チェロ)
Ulf Prella

アメリカのラ・サール・カルテットと世界的に有名なチェリスト、ザラ・ネスロヴァ女史に師事し、チェロの研鑽を積む。さらにバーゼルでトーマス・デメンガ、ケルンでボリス・ベルガメンシコフに師事し、その後ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のオーケストラアカデミーの奨学生となった。大学のコンクールで何度も優勝を重ね、シンシナティ室内管弦楽団やバーゼル交響楽団といった著名なオーケストラのソリストとして活躍するほか、ドイツ国内外で多くの演奏家と室内楽で共演している。1990年には、シュトゥットガルトで開催されたリヒャルト・ワーグナー協会主催のジークフリート・バルヘット・コンクールで優勝。1992年よりドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団の首席ソロチェロ奏者を務める。ドレスデンのカール・マリア・フォン・ウェーバー音楽大学で講師として教育にも情熱的に携わっている。著書「軽やかさ:右手と左手を解放するための補完的な弦の奏法」がショット社より出版されている。

内藤 江美 (ピアノ) Emi Naitoh

名古屋市立菊里高等学校音楽科、東京藝術大学を経て、同大学大学院修了。第32回全日本学生コンクール ピアノ部門 高校の部、西日本大会入選。第33回同コンクール西日本大会第1位。1985年日本演奏連盟賞受賞。外山雄三指揮名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。1986-87年国際ロータリー財団奨学生として、ミュンヘン国立音楽大学に留学。88年ウィーン夏期講習に参加、ハンス・ペーターマン・ドル氏のレッスンを受講。第2回東邦ガス・名フィルファミリーコンサートに出演。89年ソレイユ新人オーディション優秀賞受賞。87年、90年名古屋でソロリサイタル、95年ワルシャワ・ソロイスト、2002年、04年プロ・アルテ弦楽四重奏団、11年ドレスデン・フィル弦楽三重奏団、17年、19年チェリストのユルンヤーク・ティム氏との共演の他、室内楽、伴奏においても活躍。澤田実佳、近藤千穂、田村宏、カール=ハインツ・ディールの各氏に師事。現在、名古屋市立菊里高等学校教諭。

